

体験型交通安全教育資機材のご紹介

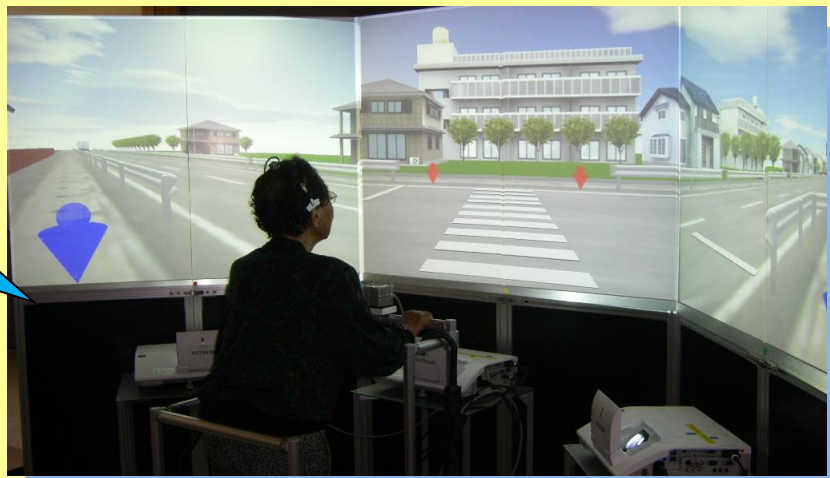
体験型交通安全教室のお申し込みは、警察署の交通課まで

① 歩行環境シミュレータ

(概要)

CGによる模擬的交通環境を再現で、実際の道路を横断しているかのような体験ができ、車道横断時に必要な歩行能力と判断能力をチェックすることができます。

VR
(仮想現実)の
体験もできます!



② 自転車シミュレーター

(概要)

室内で自転車乗車時に遭遇する危険を体験でき、交通ルールやマナーを学ぶことができます。



③ 可搬型運転操作検査器

(概要)

画面上の模擬コースを運転し、反応の速さ、正確性、注意力等を測定することで、加齢に伴う身体機能の低下を認識することができます。



④ シートベルト体験車

(概要)

時速5 kmの衝撃により、シートベルト効果を体験できます。

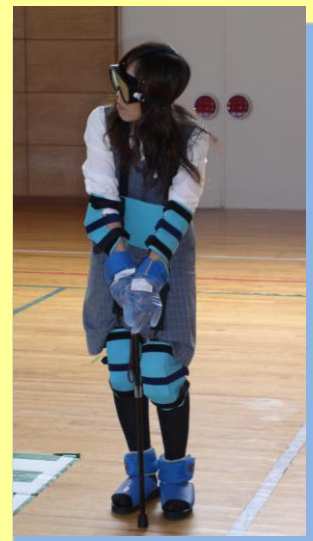


⑤ 高齢者疑似体験装具

(概要)

身体機能や筋力を低下させ、高齢者の日常動作を疑似体験できます。

高齢者の身体的、行動的特性を理解してもらい、高齢者の立場に立ったドライバーを育成します。



⑥ 歩行者横断トレーナー

(概要)

ランプが点灯して、接近する車の速さを体感できます。



⑦ 飲酒疑似体験めがね

(概要)

ゴーグルを装着することで飲酒した状態の視覚と平衡感覚を疑似体験できます。



⑧ KYT (危険予測教育機器)

KYTシステム概要

実際の運転に近いコンピューターグラフィックス(CG)動画映像を見ながら瞬時の認知・判断を伴う体験型交通安全教育を行うことで危険予測能力を向上させる。

危険察知
(KYTボタン)

記録

振り回り

危険に
対する
予測能力の
向上



内容・効果

- ・ 多人数の参加者全てが体験可能(最大20名)
- ・ **運転者の危険予測能力向上**を目的に動画を見ながら危険察知地点をボタン操作する体験・実践型資機材
- ・ **高齢運転者を含め全年齢層運転者に対応し**、運転者対象の職域・企業等における運転者講習での活用が最も効果的